

## 球面のベクトル方程式

与えられたベクトル  $\vec{c}$  と正の数  $r$  に対し,

$$|\vec{p} - \vec{c}| = r \quad (2.1)$$

を満たす点  $\vec{p}$  の全体を  $\vec{c}$  を中心とする半径  $r$  の球面という. 球面とは点  $\vec{c}$  からの距離が一定値  $r$  である点の集合である.

問題 2.9.  $\vec{p} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ ,  $\vec{c} = \begin{pmatrix} a \\ b \end{pmatrix}$  として, (2.1) を  $x, y$  の方程式で表しなさい<sup>\*1</sup>.

問題 2.10.  $\vec{p} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ ,  $\vec{c} = \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$  として, (2.1) を  $x, y, z$  の方程式で表しなさい.

## 球面の媒介変数表示

ここでは原点  $O$  を中心とし, 半径  $r$  の球面を考える.

- 平面  $\mathbf{R}^2$  内の球面 (円周) の媒介変数表示は

$$\begin{pmatrix} r \cos t \\ r \sin t \end{pmatrix}$$

で与えられる. ただし,  $0 \leq t \leq 2\pi$ .

- 空間  $\mathbf{R}^3$  内の球面の媒介変数表示は

$$\begin{pmatrix} r \cos t \cos s \\ r \sin t \cos s \\ r \sin s \end{pmatrix}.$$

で与えられる. ただし,  $0 \leq t \leq 2\pi$ ,  $-\frac{\pi}{2} \leq s \leq \frac{\pi}{2}$ .

問題 2.11.  $x = r \cos t \cos s$ ,  $y = r \sin t \cos s$ ,  $z = r \sin s$  が方程式

$$x^2 + y^2 + z^2 = r^2$$

を満たすことを示しなさい.

<sup>\*1</sup>  $\mathbf{R}^2$  内の球面は円周に他ならない.